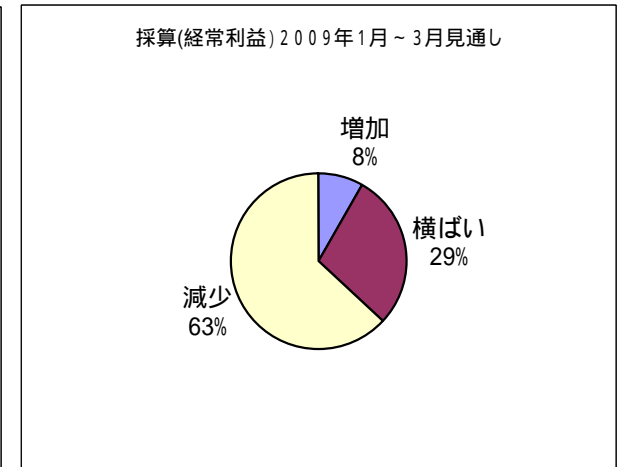
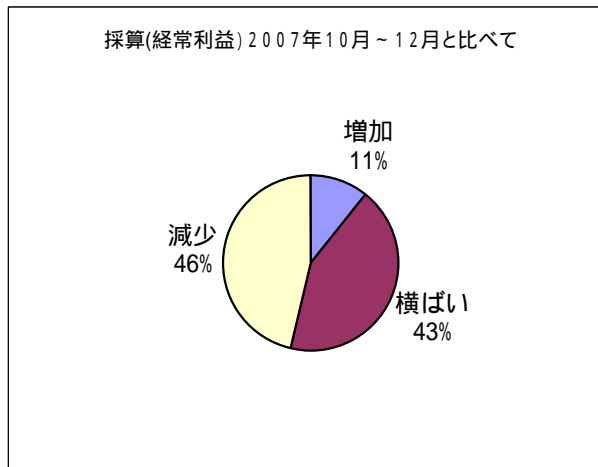
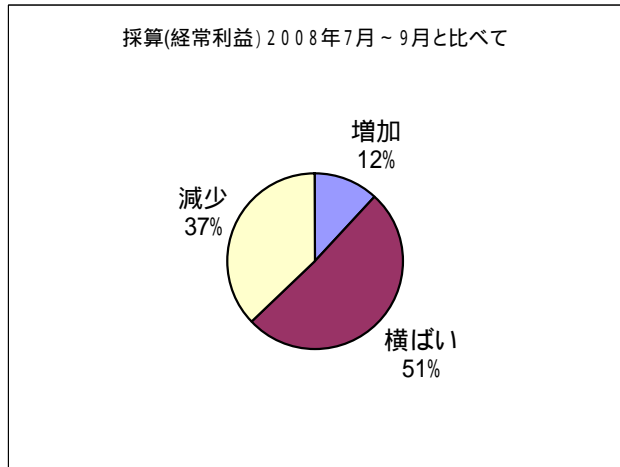
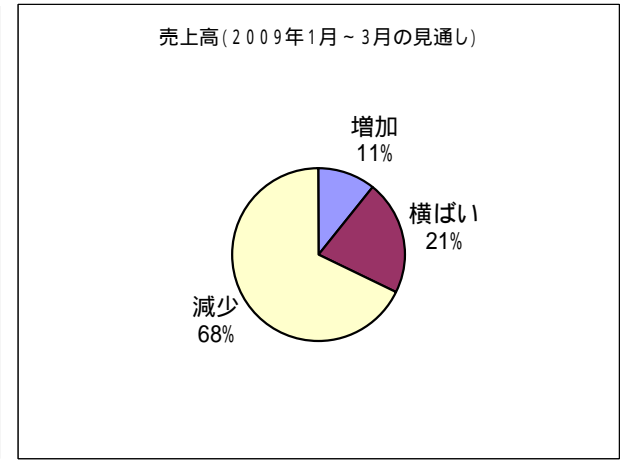
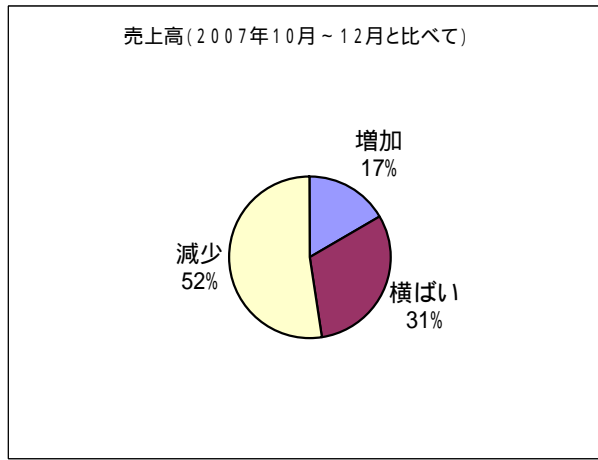
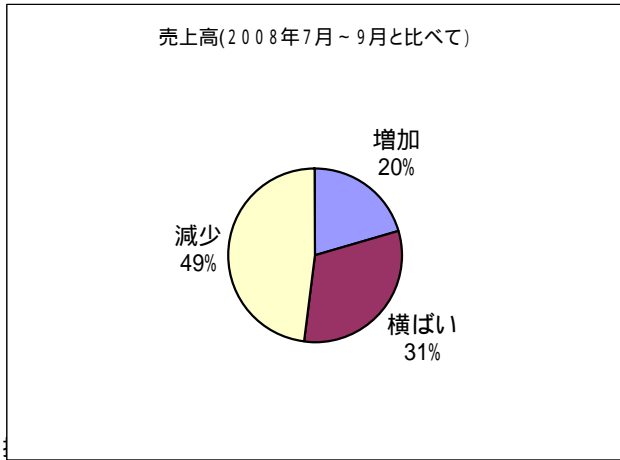


岩手県中小企業家同友会 景況調査（2008年10～12月期） 速報値

【調査要項】

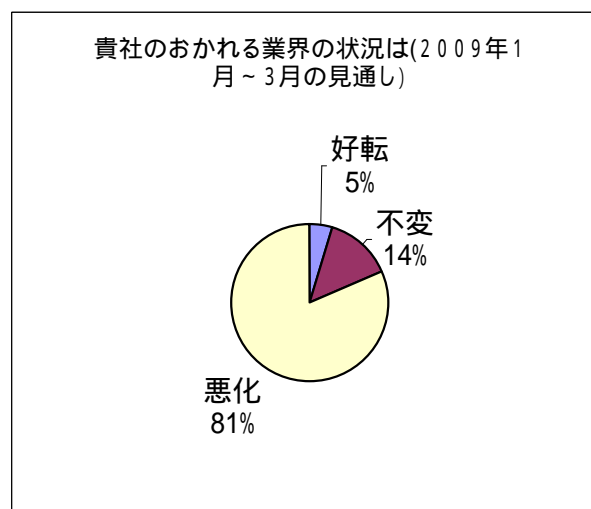
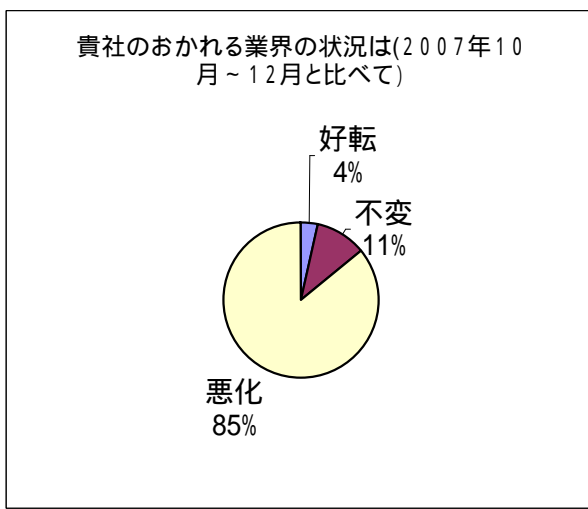
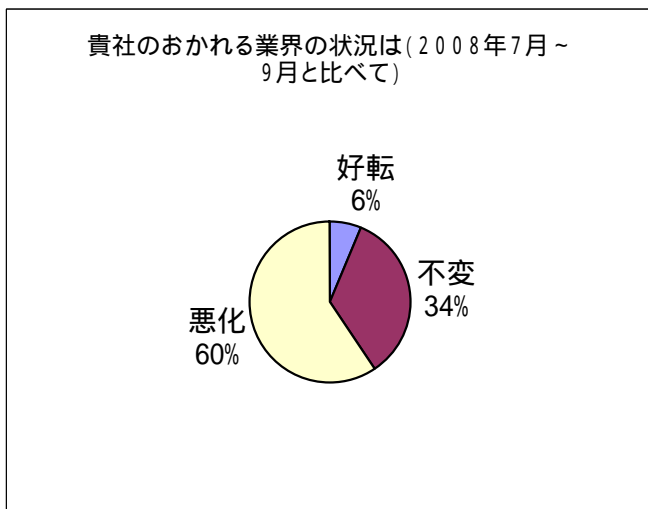
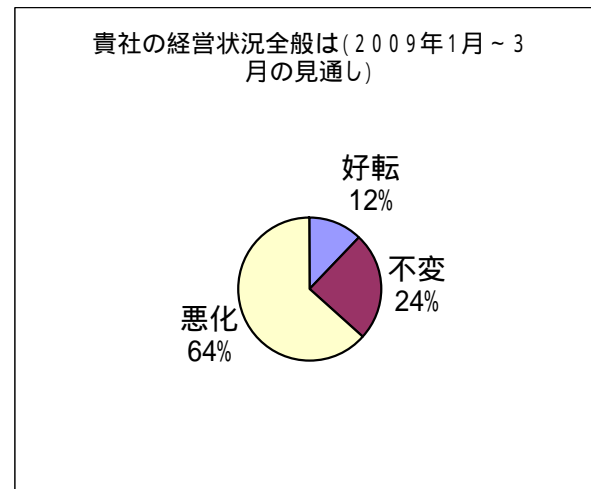
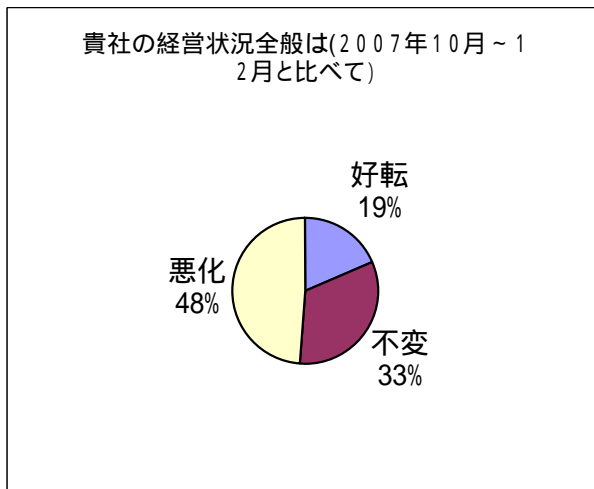
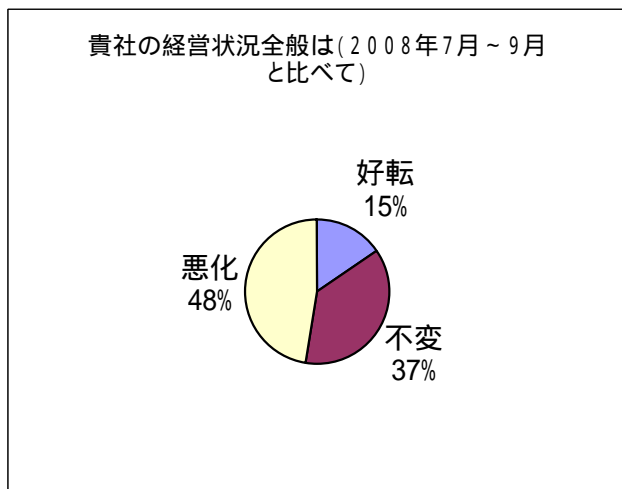
- (1)調査時 2008年12月15日(月)～24日(水)
- (2)対象企業 岩手県中小企業家同友会 会員企業の中より350社
- (3)調査の方法 FAXにより自計記入を求めた
- (4)回収企業数 350社より108社の回答を得た(回答率 30.9%)

【1】貴社の10～12月の売上高と採算（経常利益）（該当する番号に をして下さい。）



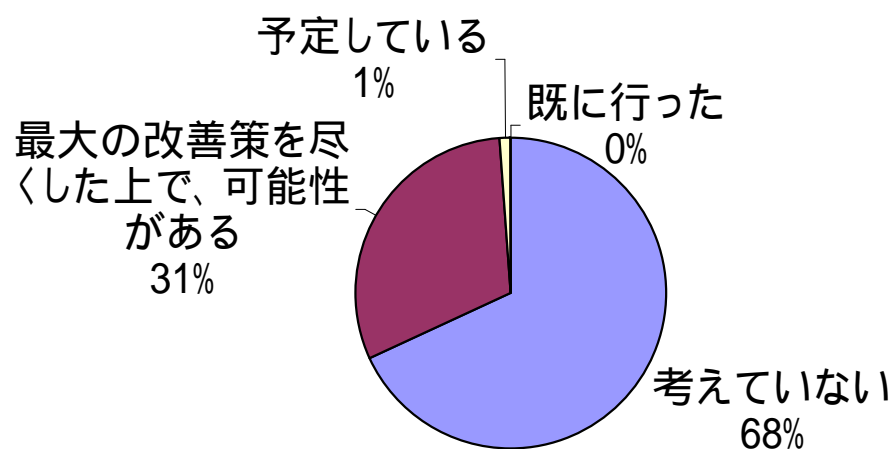
売上高、採算（経常利益）ともに昨年同時期（2007年10月～12月）と比較すると約半数が減少に転じている。しかしながら、今年7月～9月期との比較では、採算（経常利益）では減少が37%と奮闘しており、各企業での様々な経費削減へ努力する姿が見える。また今後の見通しでは売上高、経常利益ともに、減少が6割、横ばいも含めると9割が、現状維持もしくは悪化に転じると見ている。

【3】業況判断(好転・悪化の状況)



業界の状況が急激に悪化しており、昨年と比較すると85%もの企業が自社のおかれる業界の状況が悪くなっていると回答している。また来年1月～3月の見通しも不変・悪化が95%となっており、更に環境は厳しくなると予測している。そんな中でも自社の経営状況は昨年比、今年7月～9月期とも不変および好転が50%を越えており、経営環境の急激な悪化に対しても、影響を最小限に留めようとする企業の姿が現れている。

雇用についての特別調査項目(景況の悪化に伴い、やむを得ず人員を削減する予定はありますか)



自動車産業、輸出型製造業に関連する大企業の大幅な人員削減が行われる中、中小企業は地域に根ざし、地域の雇用を必死で守る姿が見て取れる。やむを得ず人員削減をする予定がある、もしくはやむを得ず行ったとされる企業は、回答のあった108社中1%のみで、むしろ考えていないが68%、他の改善策(経営者の給与カットや社員と全社的に取り組む経費削減策など)を最大限に講じた上で可能性もある、が31%と、回答のあった99%が雇用と社員の暮らしを何としても守ろうと全力で向き合う姿が見える。この表にはないが、来年度2009年、再来年度2010年の新卒者の採用を予定している企業が25社あり、どんな逆境にもむしろ前向きに挑戦、立ち向かう中小企業の気概が現れている。